第2回 旧富田小学校の利活用に係る意見交換会概要【鶴沢、小神自治会】		
日時	令和5年1月16日（月） 午後6時30分～8時	
開催場所	鶴沢公民館	
出席者	鶴沢、小神自治会より意見交換メンバー 11名 財政課長、教育次長、財政課長補佐、財政課主査 政策推進課長、政策推進課長補佐	
内容	1 開会 2 前回の振り返り 3 他地域意見交換会の概要報告 4 子ども、若者へのアンケートの実施報告 5 町による利活用方針（案）について 6 意見交換 7 その他 8 閉会	
主な意見の概要		
テーマ	地 域	町
前回からの追加意見	【意見1】 製材をする施設として利用するのがよいと思う。 また、パプリカの栽培施設として併用している例もあるので同様に利用するのもよいのではないかと。	
	【意見2】 商業施設に近いという地の利があるので宿泊施設に利用してはどうかと、以前から町には要望していた。 また、グラウンドを多目的に活用ができ、かつ運動もできる施設へ整備すれば、コロナ禍前に交流のあった中央区子ども達と遊べる場所となって良いと思う。さらに、キャンプ場として活用するのも良いのではないかと。	

主な意見の概要		
テーマ	地 域	町
前回からの追加意見	<p>【意見3】</p> <p>宿泊施設では他施設との調整が必要になると思う。町の財政の負担とならないような活用が良いと思う。</p> <p>可能であれば、マグロの養殖などを実施して雇用増に繋がるとか、特産品にするなどが良いのではないか。</p>	
町の利活用方針（案）について		<p>（ここで「利活用方針（案）」に関する資料を別途配布）</p> <p>前回民間企業から活用の相談があるとの話をしたが、お配りしたものがその内容である。</p> <p>配布資料にあるように、旧富田小学校の体育館、校舎の一部等を民間企業に貸付け、紅シャケの陸上養殖の拠点として活用するものである。校舎と体育館で養殖し、成魚を店舗販売するというものである。</p> <p>貸付予定企業は、「株式会社いちい」（以下、「いちい」という。）である。事業内容は、紅シャケの陸上養殖とその実現に向けた技術研究、陸上養殖に伴う雇用の創出、本町の新たな地域ブランドの創出、この新たな地域ブランドを活用した地域振興拠点の創出などを目指し事業を展開したいとしている。シャケ祭りといったようなイベントの開催をはじめ、紅シャケという食材を通じた食育事業など様々な地域への貢献も図りたいとのことであった。</p> <p>養殖の設備については、水道水を海水のような養殖用の水に変え養殖を行うものである。このシステムは海面養殖で問題になる赤潮の発生が抑えられ、紅シャケの生育環境にもよく、自然環境に及ぼすリスクも低いとされている。</p>

主な意見の概要		
テーマ	地 域	町
町の利活用方針（案） について		<p>貸付するのは、校舎の一階全面と体育館、プールとなる。また、水槽は、体育館、校舎1階のホール、体育館側の教室に設置するとのことである。プールについては、循環装置を設置するとのことである。</p> <p>町としては、養殖された紅シャケを活用したイベントの開催やグラウンドを活用したキャンプ（いちいはアウトドア部門の部署を持っており参画が可能）など地域の要望に沿った連携事業の内容を調整していく。また、校舎2階やグラウンド等の貸付予定以外の部分については利活用方法を意見交換会にて引き続き検討し、効果的な活用方法を見出していきたい。</p> <p>併せて、いちいの事業展開による、地域振興イベントの開催と連携した地域の活性化、更に旧富田小学校の新たな役割による活性化につなげたい。</p> <p>生産された紅シャケはいちい各店舗で販売されると共に、シャケまつりなどの地域振興イベントも実施する計画となっている。また、いちいはアウトドア部門も展開しており、この分野も活用し、グラウンドでのキャンプなども展開していくことも見込んでいる。他にも、体験型の食育や学校給食への提供などにも積極的に関わっていくとのことであった。特に、地域振興の取組みについては地域の要望の受け入れなども積極的に行っていくとのことであったので、今後の意見交換においても積極的に意見を出していきたいとのことであった。</p> <p>地域の要望を手に入れた地域振興の取</p>

主な意見の概要		
テーマ	地 域	町
町の利活用方針（案） について		組を積極的に行っていきたいとのことであつたので、今後の意見交換においても積極的に意見を出していただきたい。
意見交換	いちいから話が来たのか。	そうである。
	水は十分間に合うのか。	水道水の循環方式により養殖するので水槽を満たす分の水があれば問題ないようである。
	いちいがやりたいという事だったのか。	そうである。現在、いちいの本社敷地で試験養殖をすでに実施している。
	旧富田小学校が適しているとのことだったのか。養殖の環境としては、旧飯坂小学校という考えもあるかと思うが。 また、道の駅がもっと大規模な施設であれば十分な集客力があり、道の駅を関連づけた旧富田小学校の活用が必ずしも必要とはならなかったと思うが、そういった状況もあつてのものなのか。	旧富田小学校が適している理由については、旧福田小学校、旧飯坂小学校も視察した結果、オープンスペースであることにより水槽の設置が容易であるということのようである。なお、オープンスペースに水槽を置くことから、水槽壁面を透明の亚克力板にしてちょっとした水族館風に見てもらえるような活用も考えているとのことであつた。また、水族館のバックヤードツアーのように養殖の様子を2階から見学することも可能ではないかとのことである。 道の駅との関連づけについては、前回「道の駅から旧富田小学校に足を伸ばしてもらえるような施設が良い」との意見があつたところに、いちいから道の駅に絡めた提案があつた。食育イベントやアウトドアイベントなどが行われれば道の駅から、散策しながら旧富田小学校に足を伸ばしてもらえる可能性があるのではないかと考えている。

主な意見の概要		
テーマ	地 域	町
意見交換	町としてはどのような印象なのか。	町としては旧学校のような施設を一つでも多く有効に活用したいと考えており、今回は、他の自治体からも引き合いのあるいちいの陸上養殖を、同社と町長の協議の中で誘致決定したものであるため積極的に進めていきたいと考えている。
	世界初とは、商業としての実績がないということか。	そうである。試験養殖で成果が見られているこの事業が実用化されれば、大きな効果がもたらされると考えている。
	前のめりになるのも心配ではないか。積極的に進めるのは勿論良いが、環境への影響などマイナス要素はないのか。マイナス要素の検討に併せて、それに対してどのような対応をしなければならないのかなども考える必要もあるのではないか。 例えば、水道水とはいえ、海水と同様の水にするのだから塩分が残ったりしないのかなどは確認が必要ではないか。	ろ過装置を循環させて同じ水を使用するため、余剰に排水されるほど水道水は使わないとのことであった。
	同じ水を使い続けるということか。	そうである。最終的に窒素を取り除いて余剰となった水が浄化槽に流れるようになる。窒素については大気の80%が窒素であるため、環境に問題はないと聞いている。 実際、住民の皆様が心配されるのは環境への影響であると考えている。このこともいちいに確認したが、環境には特に影響はないとの回答であった。

主な意見の概要		
テーマ	地 域	町
意見交換	その事業がうまくいったときの構想はあるのか。	いちいに関しては、地域振興に深く携わり、多くの実績を築いている企業とは言えない部分も確かにあるが、いちいにはキャンプ用品を取り扱うアウトドアの部署もあり、実績を上げているとのことである。こうしたノウハウも大いに活かしていけるような地域振興の協議を進め、発展的な効果につなげていきたい。
	地域の意見は様々出ている。一つに限定した活用ではなく多様に使えるような使い方にしてほしい。	今後の検討の中でそうした方向を決めていきたい。
	2階の利活用を考えるにしても、養殖のように食料品を取り扱う事業であれば、外部の者の出入りは少ない方が良いのではないか。その場合、入口を分けるなどの工夫が必要になるのではないか。 また、食品取り扱いという部分では、2階への導線は外付けにしなければならないのではないかと思う	町でも2階に行けるような導線を考える方向でいちいと話している。
	以前富田小学校では、蚕の飼育を通して成長を学ぶといった取り組みも行ってた。紅シャケでも同じような事ができるのではないだろうか。そういった事業に2階のスペースは活用できないか。	稚魚から成魚となるまでには月日を要するため、成長過程を随時観察するには長期的取組みとなってしまうことから、成長過程を学べるような写真や映像を活用し、生態が学べるようなメニューを協議している。
	事業が成功してからの話であるが、水族館のような使い方にしても良いのではないか。	企業も子どもが見学できるようにしたいとのことであったので可能であると考えられる。

主な意見の概要		
テーマ	地 域	町
意見交換	<p>【意見 4】</p> <p>他の小学校の意見交換会でも出ているが、第一に子どもの遊び場、次にキャンプ場のような意見が多いと感じる。そのようなものを整備する考えはあるのか。</p> <p>整備後の管理のコストも考えなければならないだろうが、意見交換会の意見を余すことなく反映した活用をして欲しい。</p>	
	<p>グラウンドについては、残すような形でもよいのではないか。</p> <p>小さい子どもがいるのだが、遊ぶとなると中央公園ではなく町外に行く。こうした状況を考えると、本当は、子育て世代に喜ばれる便利な施設にして欲しい。若者が集まるようなものだと良かった。</p>	<p>そういったことも含め、2階部分については、今後も意見を反映させ有効な活用を検討していく予定である。</p>
	<p>【意見 5】</p> <p>2階については古文書等の展示をして、川俣町の歴史を知ることができる施設も良いのではないか。</p>	
	<p>いちいの事業について町はどこまで負担することになるのか。また、紅シャケの販売については道の駅などで行う事もできるのか。</p>	<p>施設の費用負担は今後調整することとなるが、土地建物については賃貸借契約が基本となる。水槽などの改修は、補助金を活用していちいが負担することになる。</p> <p>また、先程紹介した中にも道の駅まつりなどに合わせ販売する構想もあり、この紅シャケのネーミングなども今後検討していきたい。</p>

主な意見の概要		
テーマ	地 域	町
意見交換	校舎の貸付予定箇所は、保健室や校長室なども含むということか。	現時点ではその想定である。
	【意見6】 体育館が使えなくなってしまうので、2階及びグラウンドをどのように使うかが重要だと感じる。	
	賃貸借の契約期間は、何年を予定しているのか。	単年度契約が原則だが、複数年で契約する方法についても今後検討していく。
	いちいの養殖事業は何人くらいの雇用が見込めるのか。	5人程度という話である。工場などに比較すると少ないと感じると思うが、川俣町のブランドとなるなどのメリットを見込んでいる。
	このままいちいの事業が進めば、いつ頃から事業が始まるのか。	あくまで予定で、6月以降と想定している。

主な意見の概要		
テーマ	地 域	町
次回開催について		<p>今後については、本日のご意見を持ち帰り参考とさせていただくと共に、ご指摘のあった排水等についても更に確認する。今後、鶴沢地区と小神地区を対象に住民説明会を開催する予定である。開催の通知等は自治会長と相談のうえ、決定し次第、意見交換会のメンバーにも通知する。</p> <p>また、利活用が未定の2階についていただいた意見や、住民説明会の結果も踏まえて報告できるよう、次の意見交換会は2月下旬から3月上旬くらいに開催したい。決まり次第通知することとする。</p>